

路面標示用塗料 (溶融タイプ)

# ニッペ エバーライン



数寄屋橋交差点

道路交通の発展及び過密にともない、交通の円滑化、事故対策としての路面標示の必要性は社会的に強く認識されています。そのため標示材料の性能も一層の向上・進歩が求められています。その要求に応えるべく、当社では標示材料の耐久性、視認性、作業性などの改良を重ね、ご満足いただける商品を生み出しています。

## 特 長

- (1) 昼夜をとわない高視認性
 

優秀な着色顔料と特殊な石油樹脂の使用により鮮やかな色相を長期に保持します。また、高品質のガラスビーズを使用していますので夜間の視認性も抜群です。
- (2) 重交通にも耐える高耐久性
 

良好な耐磨耗性を持つとともに耐候性が良好であるため長期にわたり標示効果を維持します。
- (3) どのような状態の路面にも塗装できる高接着性
 

専用のシーラーを使用することにより、舗装の新日、種類（アスファルト舗装、コンクリート舗装）、表面状態（荒れた表面、フラットな表面）にかかわらずあらゆる路面への標示が可能です。
- (4) 施工量のアップにつながる高作業性
 

加熱時の溶融が容易で短時間で塗装開始可能となります。また、塗装後の乾燥性が良好なので、交通規制時間を短くできます。

## 性能

試験項目	JIS K 5665-2002 3種1号	白(S)	白(W)	黄(道路標示色)
密度(23℃) g/cm <sup>3</sup>	2.3以下	2.0	2.0	2.0
軟化点 ℃	80以上	109	106	100
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること	合格	合格	合格
タイヤ付着性	3分後に塗膜がタイヤに付着しないこと	合格	合格	合格
視感反射率(拡散反射率) (白に限る)	75以上	82	82	—
黄色度(白に限る)	0~0.1	0.04	0.04	—
耐磨耗性 mg (100回転について)	200以下	72	74	80
圧縮強さ KN/cm <sup>2</sup>	0.802以上	1.710	1.423	1.396
耐アルカリ性	アルカリに浸しても異常がないこと	合格	合格	合格
ガラスビーズ含有率 質量%	15~18	16	16	16
ガラスビーズの外観、形状	球形の粒子であって、だ円、鋭角、不透明、異物、粒子間の融着などの欠点をもつものの総計が20%(個数%)以下であること	9	9	9
屋外暴露耐候性	見本品と比べて、12か月の試験で割れ、はがれ及び色の変化の程度が大きくないこと	合格	合格	合格

試験数値は、実績に基づいた標準値です。

## ● 主な使用場所

道路標示・区画線、駐車場、公園、工場、倉庫、構内など。

## ● 保管上の注意事項

水に濡れる恐れがある場所や高温（例えば40℃以上）になる場所には 塗料を貯蔵しないようにしてください。

## ● 作業上の注意事項

(1) 塗装は季節によりますが180~200℃を標準に加熱溶融してください。

溶融の際には材料が均一になるよう充分に攪拌してください。

施工にあたっては必要以上に温度をあげることや長時間加熱することは 塗料を変質させ、性能の低下をきたすことがありますので注意してください。

(2) 次のような場合には接着不良を起こすことがありますので、必要な処置をとってください。

(イ) 路面が濡れている場合・・・バーナーで加熱するなどして水分を除去してください。

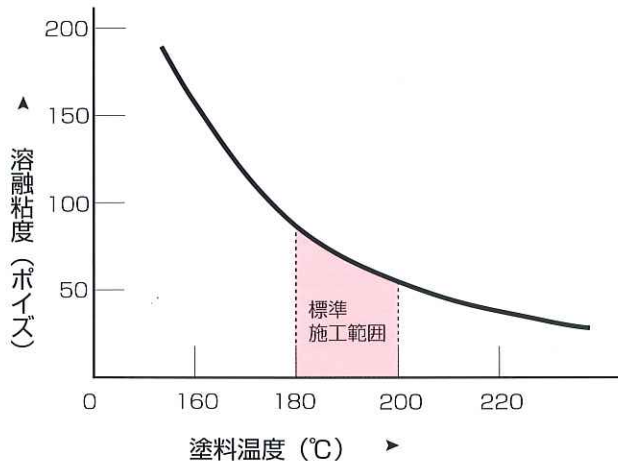
(ロ) 気温が5℃以下の場合・・・塗装前に路面を予熱してください。

(ハ) 路面に油・泥その他の・・・溶剤で拭き取るかヘラでかき取るなどして、付着物を除去してください。

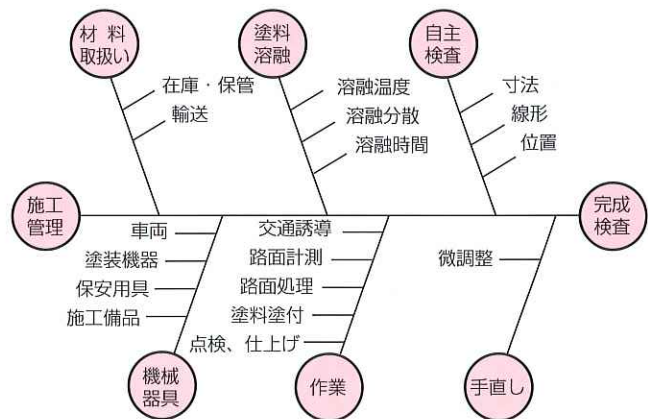
(3) シーラーは塗装場所全体に均一に塗付してください。

シーラーの塗装により接着力が向上し、塗膜異常が発生しなくなります。

## ■ ニッペ エバーラインの塗料温度と粘度との関係曲線



## ■ 施工管理フローチャート



## ■ 施工作業の流れ



